

令和8年度年間授業計画

保健体育

科目

体育(男子)

保健体育

科目

体育(男子)

単位数

2

単位

対象学年組：第1学年

教科担当者：	1組	遠藤・田巻・野村	2組	遠藤・田巻・野村	3組	遠藤・田巻・野村	4組	遠藤・田巻・野村	5組	遠藤・田巻・野村	6組	遠藤・田巻・野村
使用教科書：	現代高等保健体育											

教科	保健体育	の目標：
【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活におかえる健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	

科目	体育(男子)	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技術を身に付けようとする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考判断するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝えるという科学技術者としても必要な力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元1 陸上競技	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶことができる。	短距離走 走り幅跳び	踏み切り前3～4歩からリズムアップして踏み切り、空間動作からの流れの中で、脚を前に投げ出す着地動作をとることができる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	10
	体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに競技を楽しむための活動の方法や修正のしかたを見つけることができる。	ふりかえりシート	体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに競技を楽しむための活動の方法や修正のしかたを見つけている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	陸上競技の学習に自主的に取り組み、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。		陸上競技の学習に自主的に取り組み、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。				
	単元2 水泳	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	クロール・平泳ぎの効率の良い泳ぎにつながる重要なポイントを理解しており、実際に泳ぐことができる。	クロール 平泳ぎ	クロールではローリングを生かして腕を前方に動かし、平泳ぎではキックと腕の動きを合わせて1掻きで大きく進むことができる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	12
	自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法について、自己の考えを伝えることができる。	ふりかえりシート	自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法について、自己の考えを伝えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	水泳の学習に自主的に取り組み、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。		水泳の学習に自主的に取り組み、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。				
	定期考査（第1学期中間考査）/返却と解説						
	単元3	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	回転系や巧技系の技がスムーズに滑らかに行うことができる。		両手をマットに着きながら両足で強く蹴り、膝をのばして回転する。後転はしゃがみ立ちの姿勢から尻を着いて後方に回転することができる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	12
	課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見すること。		選択した技の行い方や技の組合せ方について、自己や仲間の動きを分析して、良い点や修正点を伝えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	回転系の技をいろいろ入れて、滑らかに安定した回転ができるように取り組む。		いろいろな技に挑戦し、できなければなぜできないのかを分析したり、より一層上の技ができるよう積極的に練習をする。				
	単元4	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	安定したボール操作の行い方や技術を理解し、技能の習得をすることができる。		味方が操作しやすいパスを送ることができる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	12
	自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法について、自己の考えを伝えることができる。		自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法について、自己の考えを伝えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	サッカーの学習に自主的に取り組もうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正を大切にしようとする。		サッカーの学習に自主的に取り組もうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正を大切にしようとしている。				
	定期考査（第1学期期末考査）/返却と解説						

令和8年度年間授業計画教科保健体育科目体育(男子)

教科:保健体育科目:体育(男子)単位数:2単位

対象学年組:第1学年

教科担当者:	1組	遠藤・田巻・野村	2組	遠藤・田巻・野村	3組	遠藤・田巻・野村	4組	遠藤・田巻・野村	5組	遠藤・田巻・野村	6組	遠藤・田巻・野村
使用教科書:	現代高等保健体育											

教科	保健体育	の目標:
【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活におかえる健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	

科目	体育(男子)	の目標:
【知識及び技能】	運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技術を身に付けようとする。	【思考力、判断力、表現力等】
	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考判断するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝えるという科学技術者としても必要な力を養う。	【学びに向かう力、人間性等】
		運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
2 学 期	単元5水泳	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	自己に適したペースを維持して走ることができる。	クロール 平泳ぎ	自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	12
	体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正のしかたを見つけることができる。	ふりかえりシート	体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正のしかたを見つけている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	陸上競技の学習に自主的に取り組み、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしていること。		陸上競技の学習に自主的に取り組み、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。				
	単元6器械体操	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	運動やスポーツが多様であることについて理解できる。	前転 後転 開脚前・後転					
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	12
		ふりかえりシート					
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第2学期中間考査）/返却と解説						
	単元7サッカー	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	運動やスポーツが多様であることについて理解できる。	パス トラップ					
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
		ふりかえりシート					
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	単元8持久走	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	運動やスポーツが多様であることについて理解できる。	長距離走					
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	12
		ふりかえりシート					
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第2学期期末考査）/返却と解説						

令和8年度年間授業計画

保健体育

科目

体育(男子)

保健体育

科目

体育(男子)

単位数

2

単位

対象学年組：第1学年

教科担当者：	1組	遠藤・田巻・野村	2組	遠藤・田巻・野村	3組	遠藤・田巻・野村	4組	遠藤・田巻・野村	5組	遠藤・田巻・野村	6組	遠藤・田巻・野村
使用教科書：	現代高等保健体育											

教科	保健体育	の目標：
【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活におかえる健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	

科目	体育(男子)	の目標：
【知識及び技能】	運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技術を身に付けようとする。	【思考力、判断力、表現力等】
		生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考判断するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝えるという科学技術者としても必要な力を養う。
		【学びに向かう力、人間性等】
		運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
3 学 期	単元9 持久走	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				6
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	運動やスポーツが多様であることについて理解できる。	長距離走					
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	
		ふりかえりシート					
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	単元10 持久走	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	運動やスポーツが多様であることについて理解できる。	長距離走					
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
		ふりかえりシート					
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	単元11 持久走	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	運動やスポーツが多様であることについて理解できる。						
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	単元12	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	運動やスポーツが多様であることについて理解できる。						
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説						